



第84号

2011 / 2

2 / 26 RACDAゼミ

「交通基本法と地域交通の未来」開催

東西鉄軌道計画を住民合意がないとして中止した大阪の堺市の新市長が、阪堺線の価値を認めて積極的な支援策を講じている。その過程で「RACDAみたいな、市民が中心となった組織が必要」と発言され、阪堺線の存続運動を行ってきたグループから、年末にRACDAの名前を使わしてほしいとの要望があり承認した。

先月29日設立記念の「RACDA大阪堺設立記念特別講演会・辻元清美が交通基本法を語る」が開催された。辻元さんは民主党政権の初代国土交通副大臣として、交通基本法に熱心に取り組み、社民党が政権離脱後、交通基本法をやりたいと社民党を離党して民主党会派入りし、民主党国土交通委員会筆頭理事としてこの問題に取り組んでいる。

本格的高齢化社会を迎え、小泉政権下の過度なグローバル化の流れの中で実施された交通部門での規制緩和では、競争原理による公共交通の活性化はおこらず、公共交通の退場が続出し、各地で公共交通の崩壊を起こした。中山間を中心に毎年2000kmのバス路線が廃止され、代替バスは結局地方の一般財源で交通を保障するしかない状態である。

年末までにパブコメなどを経て「交通基本法」制定の流れは確定してきた。交通権の保障は書き込まないものの、従来の194億円の地方公共交通補助



は要求段階で305億円まで拡大され、さらにこれから環境税の議論の中での増額が期待される。辻元議員は野党との連携を模索し、当面1000億円まで拡大したいと述べていた。

同日には東京で交通基本法のシンポを開催、また今月高松と盛岡でも交通基本法についてのシンポがありRACDAも講師として招かれている。また岡山市と岡山商工会議所でバス、自転車、吉備線LRT化などの交通について協議会が開催された。都市部でも迫る公共交通崩壊を今止めないと、我々の生活崩壊さえ起こりかねない。

RACDAゼミの開催 テーマ「交通基本法と地域交通の未来」

とき 平成23年2月26日(土) 14:30-17:00

ところ 岡山市北区・岡山県青年館(JR法界院駅北徒歩2分)

資料代500円、RACDA理事長の解説のあと自由討論を予定

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&amp;FAX 086-232-5502

E-mail racda\_okayama@ybb.ne.jp

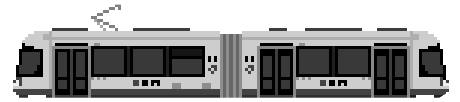
RACDA

検索

NPO法人 公共の交通ラダ  
**RACDA**詳しくは [http://wiki.livedoor.jp/racda\\_okayama/](http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/) まで

## 超低床バリアフリー路面電車MOMO 2号導入応援募金のお願い 東山線・清輝橋線に毎日車いす対応のMOMOを走らせよう 1万円で名前をMOMO 2号の車内に掲示

MOMOが導入されてから既に9年、地方の公共交通をめぐる環境は益々悪化し、2001年の規制緩和以来全国で大手バス会社が28社も



破綻するという状態に陥っています。中山間地の公共交通空白地帯の問題が顕在化し、今年交通基本法も制定に向かって、ようやく国の地方公共交通財源も193億円から305億円と増加する見通しです。

しかし、各地の公共交通事業者は低床バス、低床路面電車を新規導入する余裕はほとんどない状況に陥っており、これは岡山電気軌道とて例外ではありません。不景気と少子化の影響で輸送人員は1日1万人を割り、運賃収入は3億円を切っています。そうした中で岡電では今年創立100周年を記念して2編成目のMOMO導入を計画しています。その価格はなんと2億8000万円です。

2002年の導入では、RACDAは水戸岡鋭治さんにデザインをお願いすると同時に、広く市民に呼び掛けて500万円の募金を集めて岡山市に寄付しました。1万円以上の寄付者200余名は車内にプレートを設置して名前を永久掲示しています。寄付は全国から集まり、MOMOの導入は各地の超低床電車導入に大きなインパクトを与えました。豊橋の低床電車導入では市民募金が約3500万円あったとのこと。

さてMOMOと同型車は現在、高岡万葉線に6編成、富山ライトレールに7編成、富山環状線に3両編成が活躍していますが、これらはすべて高岡市や富山市が中心となって導入を図っており、いわば公設民営だからこそ可能になったとも言えるのです。また公営の熊本市では7編成、鹿児島市でも13編成の低床車が導入されています。岡山の姉妹都市サンノゼではMOMO導入の年、全60編成が低床車に一度に交換されたのです。

本格的高齢化時代を迎えて、岡山ではたった1編成のMOMOを東山線と清輝橋線に日替わり運行している状態ですが、2編成目の導入で週6日づつ車椅子対応の低床電車の運行が可能になります。さらにこのMOMO 2号は構想中の吉備線LRT化にも対応する性能を持っています。これから約40年間岡山を走るMOMOの導入を市民の力で支えましょう。

募金はRACDAが取りまとめて寄付を行います。また1万円以上の寄付者の御芳名は車内プレートに永久に掲示させていただきます。お子様やお孫さんの記念に、あるいは結婚の記念など是非それぞれの意味を見つけて御寄附ください。またまわりの方々にも呼び掛けてください。

2月の京橋朝市から一般寄付の募集を始めます。5月末までに前回の500万円以上を目標に頑張りましょう。



### 申し込み方法

郵便振替用紙に、MOMO応援募金と金額を書いてお振込ください。プレート掲示の氏名が複数の場合は、その由を書いてください。確認のため、葉書で領収書と掲示の御芳名をお送りします。

郵便振替 01340-8-54343 特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

**RACDA (NPO法人公共の交通ラクダ) 事務局**

〒700-0823 岡山市丸の内1-1-15 TELFAX 086-232-5502

[http://wiki.livedoor.jp/racda\\_okayama/](http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/)メール [racda\\_okayama@ybb.ne.jp](mailto:racda_okayama@ybb.ne.jp)